

## I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

②④ 初老の(孤独な?)ギタリスト?それを眺める、同じく初老の(孤独な?)ロマンチスト?!

I：今回は、やっとコロナ禍から解放された話題となりますが、過日、今年は異常な、プロ野球のキャンプ地訪問(横浜ベイスターズ)?を兼ねて、宜野湾市の運動公園に出かけたのですが、予想通り?、選手達の光景はともかく(ブルペン練習場が遠巻きに見えたが、彼らが誰であるのかは分からず?ただし、確か今永投手だと思いが、サブグラウンドにはいた?)、お客さんの姿がまったくありませんでした!

D：それは残念でした!無観客実施ですから、当然でしょうね!

I：もちろん、それはそれでいいのですが、やはり戸外に出かけてみると、様々な光景、人生模様が見られますね!さながら、私のキャンプ地訪問?は、そういうことを期待してのものでもありましたからね?しかも、とにかく、待ちに待った春の訪れですからね!

D：ということは、今回も、それに相当するものと遭遇したということですね?

I：そうなのです!道すがらの桜の咲き具合もそうだったのですが、その運動公園の海岸部(トロピカルビーチ)での一コマは、また別な趣をもつものでした!バーベキュー用の白いベンチに一人座り、ギターの弾き語りをしていた初老?(私よりは、少し年上か?)がいたのですが、その光景が、何とも哀切を感じさせるものでした!プロのギタリストとしてのオーラ(姿勢、弾き方等)はなかったように思いますが、妙に味のある弾き方、歌い方でした?!

D：まあ、夏の賑わいでしたら、そのような「隠れ(寂しい?)ミュージシャン?」は、そのような場には来ないでしょうね?ひょっとしたら、彼は、以前、何らかのプロだったのかもしれませんが(場末の飲み屋街で活躍した?)?!もちろん、私の勝手な想像ですが!

I：確かにね!しかし、それはともかく、うららかな春の日に導かれ、蒼碧の海を見ながら、独り弾き語りを楽しむ初老の男(ビートルズのレットイットビーも歌っていました!)?!すべて譜面なしの演奏でした!その中で、私が一番いいと思った歌(曲)は、彼の自作かどうかは分かりませんが、沖縄の歌(確か首里城近辺を詠った歌?)でした!初めて聞いた歌でした!ただし、民謡風ではなく、どちらかと言えば、フォークソング風?でした!私には、その歌(曲)が、とても心地よいものでした!

D：コロナ禍による傷心の日々?過去の栄光を思い出す?何かを引き摺りながら、今を生きている?!少しだけ?年老いた男達(女性でもいいが、やはりこの光景は、男の方が似合う?ちょっと差別的かな?)?!そういうことですかね?!

I：まさに、そんな感じでしたね!通常の(今までの?)私でしたら、何か言葉をかけたのかもしれませんが、今回は、少し離れた別のベンチに一人座り、決して聞いてはいないというような風情で聞いていました!私も、ある意味、そうした、少しだけ?年老いた男ですからね?!

D：客観的に見ると、かなり滑稽な?初老の男達のツーショットだったのかもしれませんがね?!(孤独な?)初老の彷徨とは、まさに、こんなものなのでしょうね?!

I：いやいや、こうした形の落ちを期待したのではなく、そこで、ふと思ったのは、そうした初老の男達の(もちろん、それに限定する必要はないのですが!)、一つの社会参加の形(場)として、こういうものがあれば、結構いいのではないかなあと思ったということでもあります!

D：要は、決してコンサート風ではなく、その場にふらりと来て(演奏する人も、聞く人も共に!)、好きなように興じる(歌う、踊る?)?!そうした、さりげない自己実現?の場が、どこかにあればいいなあということですね!逆に言えば、積極的な出会いの場ではない(「コミュニティ広場」とか、「ふれあい通り」とかというような名前や位置づけではない!)、本当に気軽に行ける場所が、公園の一角にでもあればいいなあということですね?!

(つづく)